

## 2. 全体評価

### (1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値						目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
林業・木材産業の生産基盤強化												
山地防災情報の周知												
森林資源の保護												
林業の多様な担い手の育成	人材の確保・育成・定着労働安全の確保	素材生産量(目標値)	23	千m <sup>3</sup>	R5	34	千m <sup>3</sup>	R6	23	68	R6	R7.10.14 R6花粉対策室事業報告及び多摩木材センター販売実績より集計
	人材の確保・育成・定着	新規就業者数	13	人	R5	7	人	R6	22	314	R6	R7.10.15都労確センターに確認
	労働安全の確保	災害発生件数	6	件	R5	5 (-16.7%)	件	R6	7 (+16.7%)	71 (-200%)	R6	R7.10.15厚生労働省公表資料より抜粋
林業経営体の育成												
再造林の低コスト化の促進												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。ただし、現状値より数値を縮減する(減少させる)ことを目標とする指標については、目標値／目標年度の実績とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
林業・木材産業の生産基盤強化		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護		
林業の多様な担い手の育成	素材生産量については、34千㎡の目標値に対して実績23千㎡となり、目標値には届かない結果となった。 新規就労者については、7人の目標値に対して実績22人となり、目標値を達成できた。労働災害件数については、目標値を上回る結果となった。	・所有者不明問題や担い手不足等により、計画通り主伐が進まず、素材生産量の目標達成に届かなかった。今後は森林所有者の探索に対する支援や伐採搬出技術者の育成等を通じて、安定的な素材生産体制の構築に向けた取組を着実に進める。 ・新規就労者の確保に向けて、継続して取組を実施するとともに、定着促進のため、フォローアップ体制の充実を図っていく。また、労働者の安全を確保する活動を継続し、労働災害の未然防止に努める。
林業経営体の育成		
再造林の低コスト化の促進		

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。